“農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

第141号
2022．11．1発行
島根県農地･水･環境保全協議会

実りの秋を迎えて

島根県農林水産部農林水産総務課
管理監(農山漁村振興室長)　武田昌司

多面的機能支払の活動組織の皆様には、共同活動など平素より熱心に取り組みをいただき厚くお礼を申し上げます。

私は、４月から農林水産総務課農山漁村振興室に配属となりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。当室では、多面的機能支払制度をはじめ中山間地域等直接支払制度や担い手不在集落の解消などを所管しております。

夕暮れが早くなり、朝夕の気温が下がり、季節の移ろいを感じるこの頃です。

これから木々が紅葉し始めて、山々が織物のように色づくと、いよいよ秋の深まりを感じるようになります。

秋を表現する言葉を考えてみると、旬の味覚を味わう「食欲の秋」、収穫の喜びを表す「実りの秋」、秋の夜長に楽しむ「読書の秋」や感性を磨く「芸術の秋」など、この季節ならではの豊かな日本語を思い起こします。

日本には四季があり、それぞれの季節に特徴があり、その時期ならではの行事や魅力と美しさがあります。それを五感で楽しみ、人々の営みにつなげ、情緒豊かな生活が出来る環境があると感じます。

こうした環境の礎(いしずえ)を築いているのは、農業、農村のもつ多面的機能であると思います。食料の生産を行う役割に加えて、水田は降雨を貯留して洪水を防止する役割、国民生活の安全・安心や美しい景観を作るなど様々なかたちで私たちがその利益を享受しています。

近年、農村地域の高齢化や人口減などでそうした機能の発揮に支障が生じつつある中で、活動組織の皆様には、この機能の維持・発展を今の世代だけではなく、次世代に継承するために様々なご努力と工夫を重ねておられます。

そうした取組の成果として、県内では農地維持支払において６１３組織２２，７５３ha で取り組まれ、農地カバー率は中国四国地方でトップの５７％となっています。(Ｒ３年度実績)

今後も組織の活動が継続されるよう、事務システムの活用や活動終期が近づいている組織におかれては継続に向けた話し合いを行っていただくようにお願いを致します。

また県など関係機関も活動の継続と取組の拡大が進みますよう尽力したいと考えております。

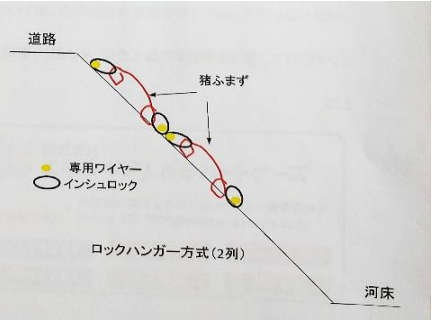
活動事例紹介

「猪ふまず」と「フルハルシート」

来待大森環境保全会

私たち来待大森環境保全会は、１６７１ａの農地を対象に３５ 名の構成員で活動に取組んでいます。活動の中心となっている役員６名は、平均年齢 50 歳と若く、全員が勤めを持っていますが、必要に応じて役員会を開き、地域について話し合っています。

今回は、私たちが取り組んでいるイノシシ対策と水路補修についてご紹介します。



■猪ふまず

イノシシ侵入が最も多いと考えられるブロック(佐久多神社山地から来待川を渡り大森地区へ侵入)を遮断するため、まずイノシシの横断箇所を確認しました。

河川左岸部のほとんどは、イノシシが登ることができない高さのブロック擁壁ですが、１箇所（橋の西詰）でイノシシの侵入ルート（踏み跡）を発見しました。

近年の被害を発生させているイノシシは、河床を移動しこの場所から大森地区へ侵入している可能性が高く、また対策範囲も15m程度の区間に限られているので、コストパフォーマンスの高い対策の実施が可能と判断しました。

「猪ふまず」の設置は、専門業者に助言を受けながら自分達で施工しました。設置範囲の除草・整地をした後、法面の上部に専用アンカーにより専用ワイヤーを設置し、そのワイヤーに「猪ふまず」をインシュロック等で固定しました。

設置後は草刈りを定期的に役員で実施しています。「猪ふまず」を傷つけないようにしていますが、もしもの時でも補修は簡単です。設置前は道路を渡って田への被害もありましたが、設置後は今のところ被害はありません。

■フルハルシート

私たちの地域の水路は、圃場整備事業でなく農業構造改善事業の時代、今から約 50 年前に設置された水路で、老朽化によりあちこちで漏水等が発生し、大変な状況でした。

そんな時、「フルハルシート」をフェイスブックで発見し、試してみました。初めての施工でしたが、施工方法をしっかりと解説して頂き、手順を守って慎重に施工することでしっかりと漏水が止りました。

実施した箇所は３年経った今でも漏水はなく、丁寧に施工することの大切さを実感しています

費目別、支出内容について

島根県では、「草刈機替刃代」は費目を「購入・リース費」、「技術指導等のための外部講師への謝礼」は費目を「外注費」と示していましたが、今年度から、国の費目別、支出内容の範例に合わせ「草刈機替刃代」と「技術指導等のための外部講師への謝礼」の両方とも費目を「その他」に変更します。

支出費目	内容
日当	活動参加者に対して支払った日当
購入・リース	資材(砕石、砂利、ｾﾒﾝﾄなど）購入費、活動に必要な機械(草刈り機など）の購入費、パソコンなどのリース費、車両、機械等の借り上げ費、花の種、苗代など
外注費 (委託費)	補修・更新等の工事等(調査、設計、測量、試験等を含む)に係る建設業者等への外注費、事務の外注費など
その他	技術指導等のために外部から招く専門家等への謝金、活動に係る旅費、保険料、文具代及び光熱費の費用、アルバイト等へ賃金、草刈り機や車の燃料代、役員報酬、、お茶代、草刈機替刃代など

※なお、今年度は金銭出納簿に変更前の費目で入力されていても変更していただく必要はありません。

防草シート『グラスガード』のご紹介

同封のチラシをご覧ください

防草シート『グラスガード』は、材質が柔らかくデコボコな土地にもよくなじみ、軽量なため作業もしやすいそうです。興味のある組織の方は、協議会事務局か直接業者へお問い合わせください。

谷農地・水委員会（飯南町）での施工の様子

グラスガードの設置コスト(材料のみ)
金額／㎡　　８００円～１２００円
(シート、固定用ピン、テープ含む)

令和４年度農村振興リーダー研修が開催されます

令和４年１２月６日から７日に、岡山県農業共済会館で開催されます。詳細につきましては、同封の「案内」をご覧ください。

この研修は、「事務・組織運営等に関する研修」に該当し、参加費、旅費等は交付金からの支出していただけます。

～訂正～
前号１４０号突撃レポートで鳥上地区農地水環境保全管理協定の面積を間違えていました。
正しくは約２８３ha でした。次回からこのような間違えがないよう確認していきます。すみませんでした。

活動組織の皆さんへ

多面的機能支払制度では、年度内の活動や交付金の使途を市町村へ報告するため、実施状況報告書、活動記録、金銭出納簿等の書類の作成が必要です。
実施状況報告書等の様式は
■協議会ホームページからダウンロードしてお使いください。（島根県の活動指針に対応しています。）
■「事務支援システム助さん」をお使いください。（令和４年度更新版は、11 月末に発送します。更新されても今年度入力された活動記録、金銭出納簿等のデータは消えませんのでご安心ください。）

★１１月の予定★

１１月　９日	中国四国農政局抽出検査（雲南市）	１１月１０日	中国四国農政局抽出検査（安来市、松江市）
１１月１１日	中国四国農政局抽出検査（奥出雲町）		

ちょっと一息 おたよりコーナー

ラジコン草刈り機のデモンストレーションが開催されました

協議会事務局

10 月14日に雲南市大東町山王寺地内で雲南管内の活動組織を対象に「ラジコン草刈機のデモンストレーション」が開催され、8組織、3団体で21名の参加がありました。
デモンストレーションは「刈り幅」「重量」など規格が異なる3種類のラジコン草刈機が用意され、各メーカー担当者の方から機種の特徴などの説明後、参加者が全機種の操作を実践されました。
ラジコン草刈機の操作をするのが初めての方が大半でしたが、スムーズな操作で、いろいろな動きの操作を体験されていました。 来年度以降もラジコン草刈機のデモンストレーションが開催される予定です。

～多面的機能支払交付金に関することは～

◆島根県農地・水・環境保全協議会
〔事務局〕水土里ネット島根
Tel 0852-32-4141　Fax 0852-24-0848
http://www.nouchimizu-shimane.jp

◆島根県農林水産部農林水産総務課　農山漁村振興室　Tel 0852-22-5119
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/
◆又は最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。

大東若木集落を守る会（雲南市）

全国の活動組織の事例はこちらから
多面事例　検索

「農村ふるさと通信」はこちらから
農村ふるさと　検索